

指定管理者評価シート			
事業名	児童会館及び子ども劇場運営管理費子育てサロン事業費	所管課(電話番号)	子ども未来局子ども育成部放課後児童担当課(211-2989)

## I 基本情報

1 施設の概要			
○児童会館			
名称	札幌市児童会館(107館)	所在地	別紙「児童会館一覧」のとおり
開設時期	別紙「児童会館一覧」のとおり	延床面積	別紙「児童会館一覧」のとおり
目的	児童の文化的素養をつちかい、その福祉を増進する		
事業概要	遊びを通じた児童の健全育成、親子の交流の支援、その他設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	体育室、図書室、プレイルーム、クラブ室、事務室、その他		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 ア 児童会館 長期的な視点に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積が必要であり、特に利用者である児童をはじめ、その保護者や地域住民との継続的な信頼関係が重要であること。また、児童会館がその設置目的を達成するためには、事業内容の企画立案等を札幌市と指定管理者が一体となって行う必要があり、札幌市が継続的かつ積極的な関与を行うことができる団体を指定管理者とする必要があるため。		
指定単位	複数施設を一括指定(106館)、個別指定(1館) 複数施設を一括指定の場合、その理由:地域間格差がなく一定のサービス基準を確保する必要があることなどから、106館の児童会館をひと括りとし、中島児童会館との複合施設であることも人形劇場を児童会館と合わせて一括指定とした。また、栄西小はんのき児童会館については、一括指定後に新規で開設したため、その都度指定した。		
業務の範囲	ア 児童会館:施設の維持管理業務、児童の健全育成業務、子育てサロン業務、使用承認等業務(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数:ア 児童会館107館 イ こども人形劇場1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:児童会館全体でスケールメリットを生かし、一定のサービス水準の維持を図っており、施設の管理運営面での均一性が確保されている要素が多いことなどから、指定単位での一括評価とした。新規で開設した栄西小はんのき児童会館については個別に指定したが、一括指定の児童会館施設と同様のサービス水準を確保するよう求めており、同一内容の業務であることから同一の評価単位とする。		

## II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼事業方針 「すべての子どもの笑顔があふれる活動拠点を地域とともにつくります」 重点目標 1. 多様性を認めあい、子どもたちが自分らしく過ごせる居場所づくりを進めます。 2. 主体性を生かしたあそびや体験をとおして、子どもたちの未来の可能性を広げます。 3. 地域・関連機関・保護者等と連携し、子どもたちの心身の育ちの場を広げます。 4. 107館のスケールメリットを生かした効果的な運営を進めるとともに経費削減に努めます。</p>	<p>すべての子どもの笑顔の実現に向け、重点目標を設定し成果を上げることができた。</p> <p>1. 個々に着目し多様性を認めあう中で、子どもたちが安心して利用できる環境づくりができた。 2. 子どもたちの希望を事業やクラブ活動化したことで目標達成に向けて主体的に取り組むことができた。</p> <p>3. 地域や保護者等との連携で子どもたちの成長をサポートする役割を担うことができた。また児童相談所等の関係機関や当財団の若者支援部門との連携を強化し、支援を必要とする子どもの早期発見やネットワークの拡大に繋げることができた。 4. 各館、各区での事業展開の他、全館での事業展開を行うことで、札幌市内の子どもたちに一体感を感じられる取組ができた。また、全館に共通した物品購入を行うことで経費削減を実現した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1166 331 1209 360">A</th> <th data-bbox="1209 331 1252 360">B</th> <th data-bbox="1252 331 1295 360">C</th> <th data-bbox="1295 331 1337 360">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業方針を明確化するとともに、重点目標を着実に実施することにより、施設の設置目的(児童の文化的素養をつちかい、その福祉を増進する)や基本的方向性、機能(子どもの居場所づくり)を実現できている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼利用者の立場を考えた運営を行うとともに、すべての利用者が平等に安心して利用できる環境づくりを行った。</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意見を反映させたあそびの時間割やルール設定</li> <li>・掲示物の振り仮名付記や掲示位置の変更</li> </ul>	<p>日常活動では子どもたちが自主的にルールを設定し、互いを思いやる気持ちを育むことができた。ユニバーサルデザインを意識することで障がいの有無に関わらず、すべての利用者にとって利用しやすい会館運営に繋げることができた。</p>	<p>平等利用について、利用主体である子どもたちと一緒に考え、取り組んでいる。また、障害者差別解消法に係る対応にも努めており、平等利用確保するための効果的な取り組みが行われている。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼環境問題に対して職員が当事者意識を持ち、札幌市環境行動マニュアルに基づき作成した職員行動マニュアルに沿って取組んだ。</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気およびガス、灯油等の節約使用</li> <li>・利用者に対する環境配慮への声かけおよび掲示</li> <li>・塵芥処理量の削減に向けた事業の実施</li> <li>・グリーン購入ガイドライン指定品の購入</li> </ul>	<p>各職員が環境配慮に対する意識を高め、利用者が過しやすい環境に配慮しながら運営にあたった。子どもたちに対しては楽しみながら地球環境を学ぶ機会を提供し、日常活動の中で物を大切にすることを意識の醸成を図った。環境問題が身近なものであり、各家庭での取組の工夫が大切であることを伝えることができた。</p>	<p>エネルギー使用の節約及び環境に配慮した効果的な取り組みが行われている。また、事業を通して子どもたちや保護者に物を大切にする意識の醸成を図っており、積極的に取り組んでいる。今後も取組を継続してほしい。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼総括責任者を配置するとともに、児童会館担当責任者であるエリアマネージャーや管理担当職員等の配置を行い、財団本部と連携しながら業務を遂行した。</p> <p>各エリアには区担当監督者であるブロック長を配置し、それぞれの児童会館においてはエリア内外で柔軟に連携し効果的かつ組織的な運営に努めた。バックオフィス機能として児童会館業務を担当する事務局を設置し、各児童会館の運営がスムーズに行われるよう事務や研修、各種調整業務にあたった。</p> <p>職員の採用や配置については、職員採用計画および配置計画に基づき採用し、役割に応じた人材を配置するとともに、欠員が出た場合は、適宜補充を行った。</p>	<p>職員研修計画に基づき、計画的に研修を実施した。また、児童会館職員として必要な知識・技術の習得と業務に対する意欲向上を目的に他団体が実施する研修に職員を派遣した。得た知識は課内で共有し、資質向上に努めた。</p>	<p>児童クラブの利用者数の増加に伴い、必要な職員数が増加する中、適正な職員配置となるよう組織の体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>人材育成については、多様な研修の機会を積極的に設けており、職員のスキルアップを図っている。今後も利用者ニーズに対応していくため、職員の資質向上に努めてほしい。</p>

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼財団総合ネットワークシステムおよび定例的な職員会議、担当別会議、プロジェクト会議等による組織内の情報共有に取組んだ。  
胆振東部地震では、停電により休館となり、児童クラブ員に対して、児童見守りシステムを活用し緊急連絡メールを活用した。災害時の職員の対応については、職員が情報を迅速に受け取ることができるシステムを導入した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼清掃、警備業務等については、第三者に対する委託業務を実施した。札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団および暴力団関係事業者と契約をしないよう、十分な注意を払った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼運営委員会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回 平成30年 11月5日(月)	・札幌市児童会館運営協議会について ・第3期指定管理業務の報告 ・第4期指定管理業務の計画説明 ・平成30年度上期事業の報告 ・意見交換
第2回 平成31年 3月11日(月)	・平成30年度下期業務の報告 ・2019年度年間事業計画の説明 ・札幌市子ども未来局より行政説明 ・意見交換
<協議会メンバー> 北海道大学准教授 北海道教育大学高度教職実践専攻教授 小学校校長会会長 札幌市PTA協議会副会長 地域ボランティア 札幌市子ども未来局子ども育成部長 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会 子ども育成担当部長	

各館では職員間の情報共有を密に行い、利用者の状況把握に努めた。全館への情報提供は財団総合ネットワークシステムを活用することでリアルタイムで配信することができた。

第三者に対する委託業務は適正に業務が履行された。施設機能を良好に維持管理するとともに利用者の安全を十分に確保して対応した。

思春期や障がい児の専門家である大学教授、小学校校長会、PTA協議会、児童会館ボランティアの各代表者より、児童会館と地域・関係機関との更なる連携推進強化に向けた貴重なご意見をいただいた。各児童会館においても運営委員会を開催し、地域の方から施設運営等に関するご意見をいただきながら、平成30年度の管理運営に反映させて進めた。

胆振東部地震での反省点を生かし、職員の連絡体制を強化するためのシステムを導入する等、緊急時の安全対策に努めている。今後も日常的に確認を行いながら、緊急時の対応に備えてほしい。

第三者に対する委託業務等の管理については、適切に行われている。

運営協議会の開催・運営は適切に行われている。また、学校や地域団体等とも良好な関係維持に努めている。今後も、関係機関との緊密な関係構築を進めてほしい。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼運営資金については、財団事務局にて集中管理しており、電算ネットワークシステムにより、適宜迅速に経理処理(月次・年次決算等)を実施した。財団が定める財務規程に基づき、定期的な内部監査に他、ブロック長による毎月の監査、公認会計士による外部監査を導入し、管理の適正化を図った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼直接電話やホームページにて市民から寄せられたすべての要望・苦情等を真摯に受け止め、解決に向け迅速かつ誠意ある対応に努めた。寄せられたご意見は職員間で共有し、再発防止と市民サービスの更なる向上に努めた。</p> <p>&lt;具体的な取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課内での情報共有</li> <li>・「苦情・事故に対する課題解決研修」の実施</li> </ul> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼年間事業計画書をはじめとする提出書類や業務日誌等の日常記録書類及び統計資料等、何れも計画どおり確実にデータ化して保存を行った。また、札幌市の業務検査に対し誠実に対応した。</p>	<p>事業における参加料等は概ね収入当日に財団指定金融機関口座へ預け入れを完了させ、資金管理を徹底し事故防止に努めた。</p> <p>利用者からのご意見に対し、担当係長または課長が現場に出向き、十分な状況確認をした上で迅速な対応を行った。また再発防止策を課全体で共有し、全職員が当事者意識を持つことに繋げた。</p> <p>今後も計画的に業務を遂行することに努める。</p>	<p>内部でのチェック体制を整え、また、外部監査等を実施しており、適正な事務処理、事故防止に取り組んでいる。</p> <p>利用者からの意見・要望等への対応体制を整えており、再発防止に向けた取り組みがなされている。今後も研修等により、サービス向上に努めてほしい。</p> <p>記録・帳簿の整理・保管・事業報告は適切に行われている。</p>				
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼財団においては、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児、介護休業法等の労働関係法令を遵守するとともに、職員のためのメンタルヘルスや各種ハラスメントに対する相談窓口を継続して開設し、雇用環境の維持に努めた。</p> <p>▼有期雇用職員の中から無期雇用職員への転換を積極的に行った。</p>	<p>働き方改革及び業務の見直しにより、週38時間45分勤務者とパート職のシフト制を確立する中で、現状に合った体制を組むことができ、児童の利用が多い時間に職員の配置を厚くすることで児童の安全面を含めて充実を図ることができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>関係法令を遵守している。また、働き方改革等を踏まえた見直しを含め、雇用関係整備に努めている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全確保および市民サービスの向上を目的に日常点検による危険箇所の早期発見に努めた。維持管理作業にあたっては、利用者や近隣住民に支障がでないよう時間帯や作業内容に配慮するとともに、事前に適切な周知を行った。</p> <p>▼感染症予防のため、手洗いやうがいの励行および除菌剤の設置を行った。</p> <p>▼活動中の事故や怪我、施設の維持管理上、賠償責任に対して、適切な保険へ加入し、必要時には速やかに対応した。</p>	<p>各館には嘔吐物の処理用として使い捨てエプロン、マスク、手袋等を常備し、感染予防のための対策を講じた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>利用者の安全を最優先としながら、市民サービスの向上に配慮した効果的な取り組みを行っている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼清掃や警備、保守点検等は効率的かつ適正な業務の遂行を図るため第三者に対する委託業務を実施した。

▼施設修繕については、関係部局と連携し慎重かつ迅速に対応した。年間276件の修繕を実施した。

▼駐車場での事故を未然に防ぎ、利用者が円滑に駐車ができるよう、見やすい看板の設置等を行った。

▼美観の保持、利用者の安全、防犯、近隣への配慮を目的に、樹木の剪定および 除草。害虫駆除、冬囲い等を適宜実施した。

▽ 防災

▼自然災害や人為的災害時における利用者の安全確保を最優先に考え、防災計画および避難訓練等を実施した。災害時の迅速かつ組織的な対応、職員による危機管理体制の強化を目的に行動マニュアルを見直し、安否確認システムの導入、各種防災対策物品の設置を行った。

▼日常活動における事故防止等の対策については、救急法・安全管理研修および会議等による事故事例の周知を行い、職員の応急手当に関する知識や安全管理に対する意識の向上、施設内外の環境整備等を実施した。

▼事故発生状況 年間377件

<症状別>

	区分	件数
1	切り傷等	21
2	骨折・ひび	71
3	捻挫・脱臼等	70
4	打撲	81
5	その他	134
	合計	377

職員による日々の巡回点検により、破損箇所の早期発見に努め、軽微なものは職員にて修繕を行い、施設の安全性確保を進めた。駐車場の利用については、利用者の協力をいただき、入口付近や駐車場内での渋滞防止および解消に繋げることができた。

定期的な訓練の実施や地震発生により職員の災害に対する意識が向上した。

小学校低学年の怪我が多かった。ボール遊びによる怪我が多い中、児童クラブ員の来館途中の事故も多く発生した。子どもたちが危険を予測して回避できるよう、各家庭と協力しながら事故の防止に努めていく。

専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持されている。修繕については、安全に配慮しながら迅速な対応ができています。

災害時の行動マニュアル等の見直しなど、災害等に備えた取り組みを行っている。定期的な訓練等もしている。今後は策定したマニュアルを確実に実践できるよう、職員研修等を行い資質向上に努め、災害・事故防止に向けた取り組みを強化してほしい。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 児童の健全育成に関する業務 1. 企画事業 ①地域連携事業 地域の中で子どもたちが伸び伸びと成長するためには、地域の大人が子どもたちへ興味を持ち、見守り、声をかけあうなどの環境が重要と捉えて実施した。 <具体的な事業(抜粋)> ・山鼻地区自転車安全利用教室 (山鼻児童会館・山鼻かしわ児童会館) ・菊の里地区秋の子どもフェスタ (菊水元町児童会館・菊水小ミニ児童会館) ・ふれあいまつり (円山児童会館) ②クラブ・サークル活動 子どもたちの興味、関心、要望等に合わせて各館にて特色ある活動に取組んできた。  <クラブ活動実施状況> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度実績</th> <th>H29年度実績</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>4,487回</td> <td>3,682回</td> <td>121%</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延べ)</td> <td>54,818人</td> <td>47,489人</td> <td>115%</td> </tr> </tbody> </table> ③読書活動 ボランティアや職員による読み聞かせだけでなく、子どもたちが主体的に読み聞かせに取組んだ。同時に図書の充実や陳列方法の見直しを行った。  <図書の貸し出し数> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度実績</th> <th>H29年度実績</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>30,843冊</td> <td>28,465冊</td> <td>108%</td> </tr> </tbody> </table> <全児童会館の読み聞かせ活動の実施>(複数回含む) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度実績</th> <th>H29年度実績</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>12,542回</td> <td>11,730回</td> <td>106%</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延べ)</td> <td>271,598人</td> <td>249,130人</td> <td>109%</td> </tr> </tbody> </table> ④自然体験活動 台風や地震等の影響で活動が制限される中、各館や各ブロック単位で自然体験活動を積極的に展開した。 滝野自然学園や定山溪自然の村等の野外施設での活動の他、札幌の豊かな自然環境を最大限活用したプログラムを展開した。		H30年度実績	H29年度実績	前年比	実施回数	4,487回	3,682回	121%	参加人数(延べ)	54,818人	47,489人	115%		H30年度実績	H29年度実績	前年比	貸出冊数	30,843冊	28,465冊	108%		H30年度実績	H29年度実績	前年比	実施回数	12,542回	11,730回	106%	参加人数(延べ)	271,598人	249,130人	109%	子どもの成長を地域でサポートするため、近隣の施設や青少年育成委員会、地域連合町内会等と連携事業を行った。事業後も子どもたちを見守っていただく等、地域で子どもを成長させていくことの大切さを伝えることができた。 クラブ・サークル活動については、子どもたちの興味、関心、要望を確認した上で活動を行ったことで活発な活動を展開することができた。  利用者から図書購入の希望を聞きとり、購入を進めた。陳列方法を工夫したことで貸出数の増加に繋がった。読み聞かせについては、読み聞かせクラブが立ち上がる等、館外で活動する機会が増加した。  自然体験活動の大切さを職員が理解した上で、活動を実施した。その結果、日常活動の中でも積極的に野外事業を取り入れ、子どもたちの体力向上や心の開放に繋げることができた。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">                     異年齢交流や地域交流を積極的に行うなど、施設の設置目的に沿った多様な事業を企画・立案し、魅力的な活動を行っている。                      子ども運営員会等により、子どもの参加、意見表明の場を設けており、子どもの権利推進に大きく寄与している。                      今後も利用者意見を反映し、魅力的な活動を展開するとともに、活動成果の発信に努めてほしい。                 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	異年齢交流や地域交流を積極的に行うなど、施設の設置目的に沿った多様な事業を企画・立案し、魅力的な活動を行っている。 子ども運営員会等により、子どもの参加、意見表明の場を設けており、子どもの権利推進に大きく寄与している。 今後も利用者意見を反映し、魅力的な活動を展開するとともに、活動成果の発信に努めてほしい。			
		H30年度実績	H29年度実績	前年比																																							
	実施回数	4,487回	3,682回	121%																																							
	参加人数(延べ)	54,818人	47,489人	115%																																							
	H30年度実績	H29年度実績	前年比																																								
貸出冊数	30,843冊	28,465冊	108%																																								
	H30年度実績	H29年度実績	前年比																																								
実施回数	12,542回	11,730回	106%																																								
参加人数(延べ)	271,598人	249,130人	109%																																								
A	B	C	D																																								
異年齢交流や地域交流を積極的に行うなど、施設の設置目的に沿った多様な事業を企画・立案し、魅力的な活動を行っている。 子ども運営員会等により、子どもの参加、意見表明の場を設けており、子どもの権利推進に大きく寄与している。 今後も利用者意見を反映し、魅力的な活動を展開するとともに、活動成果の発信に努めてほしい。																																											

## 2. 日常業務

## ① 広報活動

地域の中で果たす児童会館の役割や機能について認知度の向上を目指し、各種広報活動を展開した。

※(6)付随業務参照

② 来館児童および地域団体等の利用対応  
児童会館の利用を広報物や掲示物で周知した。障がいのある児童は安心して来館できるよう見学相談を行い、利用をとおして信頼関係構築に取り組んだ。

## ③ 放課後児童クラブの運営

子どもの自立を促すために、さまざまな体験活動や行事等を展開し、社会性を育てること、また、家庭や学校、地域と連携し、子どもを見守る環境づくりに取り組んだ。

## &lt; 児童クラブ利用状況 &gt;

	H30年度 実績	H29年度 実績	前年比
登録者数 (延べ)	12,922人	11,925人	108%
利用人数 (延べ)	1,396,441人	1,291,284人	108%

## ④ 放課後子供教室の運営

放課後や週末等に地域の方々の参画を得て、子どもたちとともにスポーツや文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目的に実施した。

## &lt; 放課後子供教室事業実施件数(学習レシピ) &gt;

	H30年度 実績	H29年度 実績	前年比
日常業務	2,375件	2,150件	110%
行事	331件	369件	89%
合計	2,706件	2,519件	107%

## ⑤ 中・高校生の利用促進に係わる業務

中・高校生の意見を取り入れたクッキングやスポーツ事業の展開や活動協会の若者部門との連携を進めた。

①※(6)付随業務参照

② 障がいのある児童については、見学相談を行うことで安心感を得ながら活動ができていた。  
③ 放課後児童クラブの登録数は増加傾向にあり、放課後の安全な居場所として認知され、子ども同士の交流の他、保護者間の交流も深めることができた。

体験活動、文化活動、スポーツ、異年齢との交流、学習活動とおし、楽しみながら学ぶ機会やものごとに関心を持つ機会を提供することができた。  
行事とすることで参加に抵抗感を持つ子どももいるため、日常活動の中で取り入れた結果、気軽に参加する子どもが増加した。

中・高校生が意見を出し合い、自分たちの希望を事業化することができ、自主性が養われた。  
若者部門との連携を進めることで、将来への不安等の軽減に繋がられた。



## ⑥子ども運営委員会に関する業務

高学年児童をリーダーとして、事業の企画から運営まで子ども主体で取組んだ。館内の活動の他、地域へ積極的に出向く機会を作った。

全館の活動発表の機会として「げんキッズ2019」を実施し、幼児から大人約9,000人が参加する事業を実施した。

## &lt;活動状況&gt;

	H30年度 実績	H29年度 実績	前年比
活動延べ 回数(回)	3,287回	3,856回	85%
活動延べ 参加人数	29,314人	30,752人	95%

## ▽子育てサロン事業

保護者同士が集える雰囲気づくりに取り組み、交流の促進を図った。季節や子どもの年齢などを考慮したプログラムの実施や地域ボランティアの協力を得て育児相談対応に取組んだ。

## &lt;具体的な事業(一部)&gt;

- ・抱っこひも講座(宮の森児童会館)
- ・トイレトレーニング講座(東区)
- ・野あそびようちえん(中の島児童会館)

## &lt;子育てサロン参加人数&gt;

	H30年度 実績	H29年度 実績	前年比
実施回数	9,358回	8,135回	115%
参加人数	266,892人	260,406人	102%
内訳(幼児)	142,925人	139,434人	102%
(保護者)	123,967人	120,972人	102%

## ▽交流事業(東雁来児童会館)

▼カフェ事業を実施し、情報共有をととした地域交流に取組んだ。高校生や50代後半が多く参加し、ボランティアグループの発足、地域の困りごと解決に向けた相談業務など、活動のコーディネートに努めた。

子どもたちの主体的な活動が根付き、活動場所が館外へと広げることができた。活動回数、参加人数が減少傾向であるが、今後も子どもたちのサポートを行い、充実した活動となるよう取組んでいく。

子育て家庭の不安を軽減するため、温かな雰囲気づくりを大切にした結果、保護者の安心感に繋がられた。講座の開催へも積極的な参加があった。子どもへの声のかけ方や遊びの紹介などを行うことで親子の絆を深める機会をつくることができた。

子育て親子の交流の場、乳幼児の遊び場として、利用者のニーズに対応したさまざまな取組が効果的に行われている。今後も継続してほしい。

安心感のある場を提供することで利用者の具体的な意見を収集することができた。活動をコーディネートする橋渡しの場として機能することができた。

地域交流を積極的に行うことで、地域との関係強化に努めている。

▽その他児童会館の設置目的を達成するために必要な業務

### 1. 小学校等との併設館での取組

▼北郷児童会館、篠路児童会館、二条はるにれ児童会館、また8月には栄西小はんのき児童会館がオープンし、4館の新型児童会館の運営を行った。各館は小学校、地域との連携事業を積極的に取り入れて実施した。

### 2. こぐま座との一体運営

▼中島児童会館とこども人形劇場こぐま座の歴史について遊びをとおして学ぶことができる施設「MA・SO・BO」が平成30年9月17日にオープンした。札幌の子どもたちが歩んできた社会背景や文化環境を振り返る場とした。

### 3. 合同行事

▼各区単位で地域内の公共・商業施設などの資源や自然を生かした事業を展開した。

<主な合同行事(区)>

区・開催日	行事名	参加人数
厚別区 9月2日(日)	厚別区子どもまつり 巨大迷路2018 「にじりんからの挑戦状 ～色妖精と迷路deビンゴ! ～」	4,000人
南区 9月23日(日)	南区児童会館 ミニ児童会館 合同行事「あそびの宝箱」	1,150人
手稲区 6月～12月	手稲区児童会館合同行事 ていねっこ★ かぼちゃれんじ	619人

連携事業に取組んだ結果、利用者が増加し、地域の理解が深まった。今後は課題整理をさらに進め、増加していく新型児童会館のスムーズなオープンに繋げていく。

札幌の歴史について楽しみながら学び、郷土愛を育むきっかけを提供することができた。

各区で特色ある事業展開を実施した。複数年実施する形態が定着化し児童会館の認知度向上に繋がった。参加児童や保護者も館の枠を越えた交流機会が得られ、非日常的な体験活動をおし、成長する機会を提供することができた。

小学校・地域との連携を強化することにより、地域の理解が深まっている。

合同行事により、児童会館について広く周知する機会を創出している。

また合同行事の中で、社会貢献に積極的に取り組んでいる。



3 利用者の満足度				
▽ 利用者アンケートの結果		総合満足度については全体を通して目標値を上回り、各年代性別に偏ることなく、サービスの提供ができた。 接遇満足度については全体として「満足している」と解答の割合が目標値を大きく上回っているが、「職員と一緒に遊んだり活動したりすることはあるか」との設問においては、中学生の年代で目標値を下回った。これは、中学生が職員との交流よりも友人との関わりを重視する傾向であるため、検討し対策を講じる。	A B C D	
実施方法	「利用者に対するアンケート」を紙面にて配布した。低学年、高学年、中学生、高校生、大人を対象に実施し、各世代合計4,397名から回答を得た。		総合満足度は15%以上、接遇に対する満足度は10%以上要求水準を超えている。 子ども運営委員会の定着により、子どもの意見が会館運営に取り入れられる仕組みが整ってきているものの、全体で見ると中学生の満足度が低いことから、子どもに寄り添った関わり方をこれまで以上に実践してもらいたい。	
結果概要	総合満足度は目標70%以上のところ、86.7%を達成した。また、接遇満足度は目標80%以上のところ、94.0%を達成した。			
利用者からの意見・要望とその対応	具体的な遊具・玩具や書籍を導入して欲しいという要望が多く散見された。併せてバスケットボールやサッカー、一輪車など運動遊びの時間を増やして欲しいという要望も多かった。求める満足度は年代によって異なりそれぞれの興味関心に対応しうる柔軟性を持ち一層の事業展開の工夫を進めていくものとする。			
4 収支状況				
▽ 収支 (千円)		9月に発生した地震を受け、児童の安全で衛生的な環境の確保を第一優先とし、必要な災害対策物品の整備に注力した。 今後も優先的に投資すべき事案を整理し、今期指定管理の5年間でバランスのとれた効果的な執行を心がける。	A B C D	
項目	平成30年度計画		平成30年度決算	差(決算-計画)
収入	3,437,836		3,432,410	▲ 5,426
指定管理業務収入	3,437,836		3,432,410	▲ 5,426
指定管理費	3,382,795		3,382,795	0
利用料金	29,752		28,770	▲ 982
その他	25,289		20,845	▲ 4,444
自主事業収入	0		0	0
支出	3,452,154		3,421,517	▲ 30,637
指定管理業務支出	3,452,154		3,421,517	▲ 30,637
自主事業支出	0	0	0	
収入-支出	▲ 14,318	10,893	25,211	
利益還元	0	53	53	
法人税等	0	9,828	9,828	
純利益	▲ 14,318	1,012	15,330	
▽ 説明				
【収入】 主な減少理由としては、震災等に伴う施設利用料金、参加料・受講料の減				
【支出】 主な減少理由としては、時間勤務職員の増加に伴う人件費の減				

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼当財団の財務状況等は、費用対効果とコストに対する意識を持ち、収支状況等を適宜把握しながら運営するとともに、人材の確保や人材の育成に取り組むことで、安定経営能力の維持に努めている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員、暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>平成30年度は第4期指定管理期間のスタートに当たる1年であることから、提案した業務内容を遂行することはもちろん、前指定管理期間で抽出された課題の解決に向けた取り組みを実施した。</p> <p>子どもたちの希望を事業やクラブ活動として実施することで、自己肯定感の高まりや目標達成に向けた自主的な取り組みを推進することができた。また、財団内各施設と連携し、体験活動機会の創出に努めた。</p> <p>人材育成については、放課後支援員認定資格研修への参加を推進し、資格保有者を増員させ、職員の資質向上に繋げた。また、災害対策として利用者の安全確保や有事の際の備蓄・設備を整理すると共に、安全のため防災災害対策マニュアルの改善整備を進め安全に過ごせる施設の環境整備に努めた。</p>	<p>2019年度は、引き続き、「すべての子ども」をキーワードとし、下記の方針および重点目標達成に向けて各事業を展開していく。</p> <p>事業方針 「すべての子どもの笑顔があふれる活動拠点を地域とともにつくります」</p> <p>重点目標 1. 多様性を認めあい、子どもたちが自分らしく過ごせる居場所づくりを進めます。 2. 主体性を生かしたあそびや体験をとおして、子どもたちの未来の可能性を広げます。 3. 地域・関連機関・保護者等と連携し、子どもたちの心身の育ちの場を広げます。 4. 児童会館一体管理のスケールメリットを生かした効果的な運営を進めるとともに経費削減に努めます。</p> <p>重点取組 1. 日常活動の中で相手を承認する、受容することを根底に子どもや保護者の気持ちに寄り添った対応を行う。 2. 子ども運営委員会等の事業をとおして、子どもたちの想像力を向上させるよう、個人の経験や能力を生かした主体的活動を推進する。 3. 保護者および地域協力者の拡大に努めるとともに、運営協議会でのご意見を参考に関係機関と連携して子どもの育ちを支援する事業を展開する。 4. 予算の計画的執行に努めるとともに、一層の費用削減を図るため発注の共同化および在庫の共同利用を積極的に推進する。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>利用者の安全確保を最優先とした施設の維持管理を行いつつ、利用者のニーズを反映したサービス水準の向上を図る取組も行っている。</p> <p>また、多様な研修機会を設け、人材育成、職場環境の見直し等、労働環境の整備を行い、職員の質の確保に取り組んでいる。</p> <p>アンケート調査から、利用者の総合的満足度が高いことも明らかであり、施設の管理運営は極めて良好。協定書に掲げる成果をあげていると評価できる。</p>	<p>放課後児童クラブの職員配置基準に基づき、適切な人員配置を行い、基準に適應した運営を継続するとともに、常勤職員の確保や職員の処遇改善に努め、安定した会館運営に取り組んでいく必要がある。</p> <p>多様化するニーズを把握し、対応できる職員の体制を整えるため、今後も引き続き研修受講等、職員全体の質の向上に努め、安定した運営につなげてほしい。</p> <p>その他、アンケートや子ども運営委員会の意見を取り入れることで、利用者の新たなニーズを把握し、利用者サービスの充実を図ってほしい。</p> <p>また、児童会館事業のない時間帯に行っている占用利用について、利用者拡大に向けた取組を検討してほしい。(地域の健全育成の場として利用することで、地域との関係を深め、関係強化につながるるとともに、その収益を活用して事業の企画・魅力的な活動が期待できる。)</p>

# 札幌市の児童会館一覽

平成31年4月現在

区	児童会館名	所在地	電話	開館年月日	面積 (㎡)
中央区	中島	中島公園1番1号	511-3397	S24.7 (S60.2改築)	757
	円山	北1条西23丁目1番18号	621-0325	S38.5 (H46.3改築)	475
	山鼻	南24条西13丁目1番1号	561-6220	S44.11 (H4.3移築)	673
	緑丘	南10条西23丁目1番5号	562-1283	S58.12	494
	宮の森	宮の森2条5丁目2番21号	641-9710	S60.3 (H25.4児童クラブ開設)	332
	桑園	北7条西15丁目28番地	641-7008	S61.3	480
	*苗穂はるにれ	北1条東10丁目15番地	221-2271	S63.4	557
	幌西	南14条西16丁目2番15号	563-2263	H1.1	483
	円山西町	円山西町8丁目1番50号	611-1980	H7.3	481
	山鼻かしわ	南15条西8丁目1番20号	533-0622	H8.12	480
二条はるにれ	南2条西15丁目	252-7283	H29.4	315	
北区	新琴似	新琴似11条7丁目3番16号	761-7501	S48.12 (H43.8増築)	476
	篠路	篠路4条9丁目3番1号	772-9292	S53.12 (H28.3改築)	350
	新川	新川4条11丁目5番16号	764-3664	S55.12 (H46.12増築)	437
	屯田	屯田5条6丁目2番23号	772-7130	S57.11	497
	太平	太平8条7丁目2番1号	771-6324	S61.2	420
	麻生	北39条西5丁目3番5号	757-0185	S61.11 (H27.4児童クラブ開設)	859
	新琴似西	新琴似9条13丁目4番1号	762-6632	S61.12	488
	篠路西	篠路6条4丁目2番32号	771-2191	H1.1	496
	新川中央	新川3条3丁目3番21号	762-8433	H2.2	491
	幌北	北17条西6丁目1番20号	727-6225	H3.3	491
エルムの森	北27条西12丁目1番35号	737-3974	H4.12	490	
光陽	新琴似6条12丁目1番25号	765-6141	H5.12	480	
百合が原	百合が原9丁目9番11号	774-2050	H7.3	480	
あいの里	あいの里1条3丁目6番1号	778-3755	H8.3	481	
あいの里ひがし	あいの里3条7丁目9番1号	778-2358	H10.12	485	
屯田北	屯田8条7丁目1番39号	788-8122	H18.3	482	
東区	新生	北8条東7丁目1番地	711-1339	S35.12 (S60.12改築)	488
	ひのまる	北38条東9丁目1番29号	752-1551	S49.12 (H3.8増築)	480
	伏古	伏古10条3丁目6番8号	782-5620	S52.11 (H26.4児童クラブ開設)	399
	苗穂	苗穂町5丁目7番1号	711-8433	S58.12	500
	札苗	東苗穂9条3丁目2番30号	791-5200	S59.12	495
	元町	北21条東18丁目5番1号	784-6664	S61.12	486
	丘珠たから	北35条東23丁目7番10号	784-8095	H1.2	475
	栄西	北46条東5丁目3番18号	752-8363	H2.1	482
	北光	北18条東5丁目1-1	753-6353	H3.4	481
	東苗穂	東苗穂5条2丁目2番10号	786-3191	H5.12	481
北栄	北30条東6丁目1番15号	711-3755	H8.3	480	
丘珠ひばり	北丘珠4条1丁目12番5号	785-6137	H8.12	479	
元町南	北16条東16丁目2番1号	785-6148	H8.12	480	
東雁来	東雁来14条2丁目1番1号	214-9215	H29.12	771	
栄西小はんのき	北39条東4丁目1番1号	768-8883	H30.8	303	
白石区	北郷	北郷4条5丁目1番1号	871-2770	S47.12 (H21.3改築)	461
	菊水やよい	菊水1条4丁目6番61号	841-5150	S50.11 (H1.7増築)	499
	東札幌	東札幌5条3丁目2番26号	822-5811	S59.3	500
	北東白石	川下3条5丁目3番1号	875-1311	S63.2	493
	東白石	本通13丁目南10番1号	863-8833	S63.3	460
	菊水元町	菊水元町8条2丁目15番5号	873-1610	H1.1	485
	柏丘	平和通8丁目北3番44号	865-7520	H2.12	485
	栄通	栄通6丁目19番12号	853-5706	H4.12	483
	川北	川北4条1丁目4番29号	872-0002	H13.2	480
	もみじ台	もみじ台西6丁目1番2号	897-0775	S55.12 (H8.1増築)	432
厚別区	厚別西	厚別西2条4丁目3番20号	891-7237	S59.12	487
	厚別南	厚別南1丁目15番10号	894-1710	S62.3	453
	厚別東	厚別東3条4丁目4番13号	897-4425	H2.1	484
	青葉	青葉町7丁目1番38号	895-9962	H3.12	482
	しなの	厚別中央4条5丁目7番16号	891-2025	H4.3	483
	上野幌	上野幌2条4丁目	895-9749	H4.12 (H31.4移築)	484
もみじ台ふれあい	もみじ台東7丁目9番1号	897-4760	H6.12	480	

区	児童会館名	所在地	電話	開館年月日	面積 (㎡)
豊平区	豊平	豊平6条7丁目1番12号	811-1376	S40.11 (S59.3改築)	719
	西岡	西岡3条6丁目6番1号	852-8113	S57.3	409
	平岸	平岸3条9丁目15番22号	812-2493	S57.11 (H27.4児童クラブ開設)	584
	東月寒	月寒東3条16丁目13番28号	853-9741	S59.12	480
	福住	福住1条1丁目5番5号	855-0350	S62.1	481
	中の島	中の島2条3丁目8番1号	811-5215	S63.4	467
	美園	美園6条5丁目4番1号	824-5440	S63.12	435
	月寒	月寒西1条6丁目3番21号	851-6433	H4.3	499
	西岡高台	西岡4条11丁目4番22号	581-5394	H4.12	472
	天神山	平岸1条19丁目2番55号	816-0388	H5.12	481
あやめ野	月寒東4条10丁目6番10号	857-5862	H8.12	481	
清田区	清田	清田1条4丁目3番53号	882-2960	S52.11 (H4.12増築)	427
	平岡	平岡8条1丁目6番22号	881-9766	S61.2	404
	北野	北野4条2丁目8番17号	884-6992	H2.4	481
	清田中央	清田6条2丁目10番1号	884-9610	H3.3	502
	里塚	里塚2条3丁目12番23号	881-4822	H4.3	483
	北野台	北野4条5丁目4番58号	882-9640	H6.12	480
	美しが丘	美しが丘5条6丁目1番5号	885-9766	H7.12	480
	平岡みどり	平岡公園東10丁目13番10号	884-6866	H12.3	484
	澄川	澄川5条4丁目	831-5150	S54.12増築 (H31.4移)	299
	藻岩	川沿8条2丁目1番26号	571-8616	S56.12 (H4.12増築)	431
南区	藤野	藤野2条8丁目6番1号	592-1532	S57.11	499
	真駒内	真駒内本町3丁目4番1号	584-3336	S59.3	500
	南の沢	南沢4条2丁目6番21号	571-2909	S63.3	402
	石山	石山1条4丁目	591-7730	H2.8 (H31.4移築)	300
	常盤	常盤2条2丁目17番23号	592-6091	H4.12	483
	真駒内五輪	真駒内泉町3丁目1番6号	581-1823	H6.3	481
	みずまい	麓舞3条6丁目8番25号	596-3911	H9.3	462
	手稲東	西町北10丁目3番8号	661-7332	S40.12 (H13.12改築)	478
	八軒	八軒7条東1丁目1番7号	631-7061	S56.12	404
	西野	西野7条3丁目5番15号	663-6355	S57.11	500
西区	発寒北	発寒13条4丁目1番37号	664-9710	S60.12	493
	山の手	山の手6条5丁目2番1号	642-0118	S61.12	480
	二十四軒	二十四軒4条3丁目4番44号	644-4730	H2.4	491
	発寒	発寒7条7丁目7番30号	666-0206	H2.12	483
	宮の沢	宮の沢1条5丁目11番25号	666-5323	H3.12	483
	平和	平和1条5丁目1番27号	667-3359	H4.12	472
	八軒北	八軒8条西6丁目1番20号	644-3643	H7.12	480
	手稲前田	前田2条12丁目1番4号	682-2070	S53.12 (H2.12増築)	488
	稲穂	稲穂3条5丁目9番23号	684-0901	S60.3	484
	あけぼの	曙9条1丁目9番40号	685-4821	S63.3	467
手稲区	富丘	富丘3条6丁目2番7号	685-9393	H1.4	487
	西宮の沢	西宮の沢2条4丁目5番35号	681-6940	H2.4	500
	いなづみ	前田4条4丁目2番13号	684-3072	H2.12	482
	前田しらかば	前田8条15丁目17番25号	694-2474	H5.12	480
	星置	星置2条7丁目3番1号	684-4610	H6.12	475
	新発寒	新発寒6条4丁目15番1号	685-7343	H7.12	480
	金山	金山3条2丁目1番30号	695-0919	H9.12	480

## 合計 107館

※「\*」は、児童クラブ未開設館(1館)

※「区」の○内の数字は、区内の館数

## 指定管理者評価シート

事業名	児童会館運営管理(人形劇場含む)	所管課(電話番号)	子ども未来局子ども育成部 子どもの権利推進課(211-2942)
-----	------------------	-----------	-------------------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こども人形劇場こぐま座	所在地	中央区中島公園1-1
開設時期	昭和51年7月	延床面積	137.17㎡
目的	人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他活動に資する。		
事業概要	人形劇等の制作・発表の場の提供、人形劇等の制作に関する指導及び講習会等の開催、その他設置目的達成のための必要な事業。		
主要施設	ホール		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:人形劇の担い手を育成しながら自らも人形劇を製作し発表することが求められており、蓄積してきたノウハウを生かし、長期的な視点に立って継続的な事業運営や人材育成に取り組む必要があるため。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、児童健全育成業務、子育てサロン業務、使用承認等業務(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 札幌市こども人形劇場こぐま座は、「人形劇等の児童文化の創造の場として、より優れた子どものための舞台芸術を提供し、子どもたちの情操のかん養を図り、健全な育成に資する」という理念のもと、児童文化の創造拠点としての役割を明確にし、子どもの舞台体験の拡充及び制作団体の育成を基本方針として策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼ 市民のための劇場づくり、利用者の目線での施設運営を基本方針とし、誰でも、いつでも利用することが可能なオープンで温かみのある職員対応を心掛けた。また、制作団体に対しては、施設をいつでも利用可能な状態にし、作品に対してのアドバイスを常時行った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 環境行動マニュアルに基づき、環境を意識して業務を推進した。冷暖房の節約に取り組み、電気量の節約や環境に配慮した取組みを行った。</p>	<p>こども人形劇場こぐま座が設置された理念に基づき、基本方針を策定した。市民のための劇場としての役割を明確にし、職員と利用者がより良い関係を築けるような親しみやすく温かい劇場づくりに努めた。</p> <p>環境行動マニュアルに基づき、電気の節約、クールビズの推奨、ごみの減量など環境に配慮した取組みを行った。</p>	<p>A B C D</p> <p>施設の設置目的や施設の役割等踏まえた基本的な方向性が明確化された方針となっている。</p> <p>また、施設の特徴を踏まえ、平等利用とともに、専門性を供えながらも市民目線のサービス提供が積極的になされている。</p> <p>今後も施設の設置目的に基づいた施設管理を継続して行っていくこと。</p>

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者1名配置。
- ▼ 事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。
- ▼ 人材育成

(1)派遣研修(劇場運営関係)  
 全国、海外人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門知識向上に努めた。

・福島県への継続文化支援活動における職員派遣

- ①6/7～11(職員2名)
- ②9/4～8(職員3名)
- ③10/24～25(職員1名)
- ④11/26～12/3(職員2名)
- ⑤12/13～23(職員4名、他課職員3名)
- ⑥2/26～3/4(職員2名)

・厚真町被災地支援活動

- ①9/15(職員3名)
- ②9/29(※コーディネート)
- ③10/21(※コーディネート)
- ④10/31 職員1名

・ノボシヴィルスク人形劇交流公演

実施期間9/29～10/7(職員3名)

・第9回砂川人形劇フェスティバル

実施期間3/15～17(職員3名)

・こども関連施設資料室視察 6/1～2(職員2名)

・全国人形劇ネットワーク設立準備会

実施期間10/18～20(職員2名)

・「こども文化セミナー」参加

実施日 9/13、10/20、12/24(職員5名)

(2)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修

- ・危機管理研修
- ・階層別研修(係長研修等)
- ・目標設定に係る面談研修
- ・実務研修

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼ 月1回の定例的な職員会議を実施し、情報の共有、業務の改善、事業の見直しを行った。また、日常的に情報を共有できるよう、コミュニケーションの円滑化に努めた。

▼ 日常業務の見直しを全職員で行い、施設の安全性の再確認、また、役割分担を行うことで効率化を図った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

《再委託業務の実施状況》

	業務名	契約業者名	実施月	契約方法
1	札幌市こども人形劇場舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務	株式会社池下電設	3月	特命

▼ 上記の業務について再委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 運営協議会 11月7日	・平成30年度上半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼

・将来を見据えた安定的な劇場運営のため、職員派遣研修(児童関連施設視察、海外派遣、人形劇場ネットワーク準備会、砂川フェスタ等)や社会貢献事業(被災地支援活動)における実務研修を実施。さらに、「こども文化セミナー」参加等、劇場職員として児童文化に関する専門性を高め、職員一人一人が創造者として利用者に関わっていけるよう努めた。

・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員資質向上へ向けて研修を実施し、視野の拡大を図った。

施設の良好な維持管理のため、年1回の舞台設備保守点検業務を実施。

運営協議会にて、協議会メンバーへ事業実施報告を行い、更に利用者から

管理運営組織は適性に確立されており、緊急時の体制も整っている。また、職員研修や派遣に関しては、子どものための専用劇場という特異な施設であることを念頭において十分な事業が実施されている。今後も継続して、職員の資質を向上させ、利用者満足等に反映されるように努めること。

引き続き、情報共有や日常業務の見直し改善を継続するとともに、管理水準の維持向上に努めていくこと。

第三者に対する委託業務等の管理については適切に行われていることから、今後も継続して、施設の良好な維持管理に努めること。

運営協議会や利用者説明会を実施し、利用者のニーズ把握に努



	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 152 544 232">第1回 業務・財務検査 3月6日</td> <td data-bbox="544 152 983 232">・業務報告及び計画、進行状況説明 ・業務・財務検査</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 232 544 313">第1回利用者 説明会 3月6日</td> <td data-bbox="544 232 983 313">・平成31年度事業についての説明 ・要望事項検討、協力依頼</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 313 544 394">第2回 運営協議会 3月20日</td> <td data-bbox="544 313 983 394">・平成30年度下半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼</td> </tr> </table> <p>&lt;運営協議会メンバー&gt;札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会、小樽商科大学特認名誉教授、札幌市子どもの権利推進課長、札幌市こども人形劇場館長</p> <p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計検査を導入。</p> <p>▼ 現金等の取扱いについては、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会財務規程に基づき、適正に処理を行っているほか、現金等取扱規程を整備し、事故、不祥事を未然に防ぐようにしている。30年度については、特に問題はなかった。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼ 要望・苦情対応については、マニュアルを作成し、職員に周知している。</p> <p>▼ 市民からの要望・苦情については、意見箱を設置し、常日頃から市民の声を聞くことができる環境を整えている。30年度については、要望・苦情はなし。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ 常日頃から業務実施に関する記録、帳簿の整備、保管に努めている。(業務日誌、文書管理簿、事業計画書及び事業報告書、収支予算書及び収支決算書、現金出納簿等)</p> <p>▼ 劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。</p>	第1回 業務・財務検査 3月6日	・業務報告及び計画、進行状況説明 ・業務・財務検査	第1回利用者 説明会 3月6日	・平成31年度事業についての説明 ・要望事項検討、協力依頼	第2回 運営協議会 3月20日	・平成30年度下半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼	<p>の要望検討や意見交換を行った。利用者からの生の声を聴くことで、運営上の改善点や相互協力方法を改めて確認し合う有意義な場となった。</p> <p>市民から寄せられた要望、苦情等については、迅速かつ適切に処理できるよう事務フローを作成し、職員が共通認識のもと対応している。</p>	<p>めており、評価出来る。また、有識者からの意見も取り入れることで、事業の充実を見込むことが出来ており、引き続き、関係機関との連携を図り、より良い施設運営につなげていくよう努めること。</p> <p>業務・財務検査の結果、適正な事務処理がなされていることが確認された。</p> <p>意見箱を設置し、利用者からの声を施設運営に反映させる仕組みが整えられている。今後も利用者のニーズを的確に把握し、要望・苦情に迅速かつ適切に対応すること。</p> <p>記録・帳簿等の整備、保管、事業等の報告については適切に行われている。</p>		
第1回 業務・財務検査 3月6日	・業務報告及び計画、進行状況説明 ・業務・財務検査										
第1回利用者 説明会 3月6日	・平成31年度事業についての説明 ・要望事項検討、協力依頼										
第2回 運営協議会 3月20日	・平成30年度下半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼										
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽労働関係法令遵守、雇用環境維持向上の措置</p> <p>▼ 職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。</p> <p>▼ 職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。</p> <p>▼ 法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出た。</p> <p>▼ 労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に加入。また、必要に応じて適正に届出等を実施した。</p> <p>▼ 常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。</p> <p>▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。</p> <p>▼ 全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。</p> <p>▼ 法令上義務付けされていないが、法人として自発的に全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。</p>	<p>労働関係法令に関する理解を深めるとともに、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1257 1462 1294 1503">A</td> <td data-bbox="1294 1462 1331 1503">B</td> <td data-bbox="1331 1462 1367 1503">C</td> <td data-bbox="1367 1462 1404 1503">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1257 1503 1455 2072">労働関係法令順守のための取り組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取り組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	労働関係法令順守のための取り組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取り組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。			
A	B	C	D								
労働関係法令順守のための取り組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取り組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。											

	<p>▼ 業務内容に応じたシフト制勤務と、職員間連携を徹底することで時間外労働時間軽減に努めた。</p>										
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼ 施設賠償保険に加入することにより、利用者の自己対応に努めている。</p> <p>▼ 毎日の点検、見回りを行っており、安全確保に努めている。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 舞台設備保守点検業務については、再委託を行い実施。</p> <p>▼ 劇団等の施設利用者に対し、車両進入許可証を発行し、公園内での事故等に十分注意し、関係者以外の進入を防げるよう努めた。</p> <p>▼ 清掃については、中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務として2施設を共同管理。また、年1回カーペット清掃など、日常的にできない専門的清掃を実施。日常的には職員が対応。また、公演時には劇団の協力により実施。</p> <p>▼ 警備に関しては、中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務として2施設を共同管理。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼ 中島児童会館と、2施設共同の防災計画・緊急連絡体制を定めている。</p> <p>避難訓練実施…①7/27(参加人数 21名) ②10/11(参加人数 21名)</p>	<p>日頃より館内の見回り、点検を行い、破損や故障等は速やかに修理した。</p> <p>駐車場を利用する劇団利用者に日々、安全確認および注意を促すことで、公園内の安全確保ができた。</p> <p>災害や利用者の傷病に対する対応について、平日頃より気を配り、突発的な事態に対応できるよう事前の準備心がけている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。また、防災についても、防災計画を定め、訓練を行い、日頃から備えている。</p> <p>今後も市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。また、防災についても、防災計画を定め、訓練を行い、日頃から備えている。</p> <p>今後も市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p>			
A	B	C	D								
<p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。また、防災についても、防災計画を定め、訓練を行い、日頃から備えている。</p> <p>今後も市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p>											
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務</p> <p>▼平成30年度は、一体運営をするこぐま座、中島児童会館に、資料室「MA・SO・BO」を開設することができた。次年度70周年を迎える中島児童会館とともに両施設が担ってきた役割を再認識し、児童健全育成の中心拠点としてその歴史と功績を全国的にPRしていくことも含め、今後あらたな事業展開の実現が可能となった。</p> <p>▼やまびこ座が30周年を迎え、札幌国際人形劇フェスティバル、プロデュース人形劇をはじめとし、普段では観ることができない海外、全国多数の劇団による公演事業、ワークショップを実施した。また、劇場の専門スキルを活かし、他団体やアーティストとの関わりによって、これまでにない作品づくりの視点から、30周年記念制作の野外巨大人形劇「テンペスト」を制作した。より観客と触れ合うことが実現したことで、劇場に足を運ぶことのなかった市民の方々への興味、関心を引き出すことにつながった。</p> <p>▼姉妹都市であるノボンビルスクから招へいを受け、国際交流事業として劇場で育成する大学生を派遣。若い人材に投資することにより将来における札幌の文化の担い手と成長することを期待する。</p> <p>▼劇場の内外にて、子どもから大人までの一連の繋がりを意識し、人形劇や児童文化を中心とした人材育成事業(人形劇講座、こども人形劇団、パペットユーススクール、砂川人形劇、児童会館人形劇クラブ、こどものまなび塾等)に丁寧に取り組むことで、劇団やボランティアの誕生、育成を支援した。</p>	<p>資料室MA・SO・BOの開設により、人形劇観劇前後にも親子で楽しめることの効果は大きく、年間利用者人数の目標数値を大きく上回ることができた。</p> <p>やまびこ座とともに、記念企画を実施できたことは、これまで両劇場が築き上げてきた市民劇団や全国各地の関係団体との関係性、市民からの期待値の高さの表れとあらためて認識する機会となった。</p> <p>やまびこ座・こぐま座の人材育成を根幹とした取り組みは全国的に注目されており、今後も札幌の子ども文化の素晴らしさを全国、世界へと発信していく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>目標を上回る人形劇等の舞台芸術の提供を行う等良好な実績を残し、児童文化の普及及び子どもの健全育成に寄与している。</p> <p>また、子どもから大人までを対象とした舞台芸術に関する講座を開催するとともに、市民人形劇団への専門的指導等いより、担い手の育成にも努めており、評価できる。</p> <p>新たな取組として児童会館へ職員を派遣し、人形劇クラブの指導及び育成を行うことは、人形劇の裾野拡大において有意義である。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>目標を上回る人形劇等の舞台芸術の提供を行う等良好な実績を残し、児童文化の普及及び子どもの健全育成に寄与している。</p> <p>また、子どもから大人までを対象とした舞台芸術に関する講座を開催するとともに、市民人形劇団への専門的指導等いより、担い手の育成にも努めており、評価できる。</p> <p>新たな取組として児童会館へ職員を派遣し、人形劇クラブの指導及び育成を行うことは、人形劇の裾野拡大において有意義である。</p>			
A	B	C	D								
<p>目標を上回る人形劇等の舞台芸術の提供を行う等良好な実績を残し、児童文化の普及及び子どもの健全育成に寄与している。</p> <p>また、子どもから大人までを対象とした舞台芸術に関する講座を開催するとともに、市民人形劇団への専門的指導等いより、担い手の育成にも努めており、評価できる。</p> <p>新たな取組として児童会館へ職員を派遣し、人形劇クラブの指導及び育成を行うことは、人形劇の裾野拡大において有意義である。</p>											

	講座名	H29実績	H30実績
1	初心者のための人形劇講座	154	211
2	経験者のための人形劇講座	478	498
3	こぐま座こども人形劇団	1,097	836
4	パペットユーススクール	746	1,587
5	腹話術初心者入門講座	75	56
7	人形劇クラブの指導および育成	1,453	1,037

▼ 劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化を目的として協賛金を募る「事業サポーター制度」を実施。結果、11件の劇団・個人からの協賛と、3件の企業協賛を得た。

▽ 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

▼ 札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や人形劇協議会等の活動調査、全国の公立人形劇場、児童文化活動の調査を行い、広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努める。また、関係機関の情報収集に努め、資料の整理を随時行い、市民からの要望があれば、閲覧可能とした。

▼ 札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や人形劇協議会等の活動調査、全国の公立人形劇場、児童文化活動の調査を行い、広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努める。また、関係機関の情報収集に努め、資料の整理を随時行い、市民からの要望があれば、閲覧可能とした。

▼ 全国人形劇ネットワーク会議設立に向けた準備会として、長野県いいだ人形センターにて人形劇関係者との意見交換会を実施した。人形劇の発展のため、全国の人形劇場、人形劇関係者、プロデュース事業等に関わる方々を交え、現在抱えている人材不足の問題や、人形劇をおした次世代育成、地域コミュニティの構築、将来構想について共に考えていくため、全国人形劇ネットワーク会議の設立を目指す準備会を実施した。

▼ 被災地支援活動を継続実施した。5月のゴールデンウィークにやまびこ座、こぐま座にてチャリティー公演を実施し、6月、9月、10月、11月、12月、2月に福島県内各施設(幼稚園、保育園、公共施設、仮設住宅等)にて人形劇、人形浄瑠璃の公演や人形劇の体験機会、地域交流イベントを提供した。また、9月の北海道胆振東部地震発生後は、厚真町への支援活動も実施した。今後も両劇場ができる人形劇やこどものあそびを中心とした文化活動が、少しでも子どもたちの心のケアや人々や地域の活性化につながっていくよう息の長い支援を行っていく。

▼ 昨年度から引き続き、オホーツク文化について調査研究を行っている北海道大学との共同連携により、プロデュース作品である北海道の人形劇シリーズ『OKHOTSKー終わりの楽園』の上演及び、大学関係者に向けた講演事業を実施した。北海道の史実や各地域に伝わる民話などを題材とすることで、北海道の歴史や文化への興味、関心を深めてもらうとともに、両劇場のPRの機会にもつながった。

▼ 3月に砂川市地域交流センターゆうで実施された砂川人形劇フェスティバルに参加。こひつじ座による「あらしの夜に」や、やまびこ座・こぐま座プロデュース、北海道の人形劇シリーズPart1「奇跡の庭～じかん島のひみつ」を上演した。

上演回数については、目標の200回を上回り、市民人形劇団が中心となり、充実したプログラムを提供することができた。劇場の役割の一つとして子ども文化の裾野を拡げることにつながった。

市民や企業等との連携を図り、協賛を得て事業を実施していることを評価する。

全国の人形劇関係者との情報交換することで、人形劇関連の取り組みや課題などを知ることができ、有意義な機会となった。やまびこ座、こぐま座を中心とした札幌の人材育成に対する関心が強く寄せられ、特に小学生から中高生、大学生、社会人へとつながりを絶やさず、幅広い世代が育っていることに対し賞賛の声が多かった。公立の劇場として常に先駆的であり続けなければならない使命や責任を感じるとともに、全国の人形劇場、人形劇関係者とともに、人形劇文化の発展のため協力体制強化の必要性を感じた。

関係団体等の調査や情報収集、資料の公開等、舞台活動の拡充に取り組まれており、評価できる。

やまびこ座、こぐま座で活動する市民劇団の協力を得て、札幌の人形劇を被災地に届けることができた。文化支援を通し、子どもたちを笑顔にすることが、周囲の大人の活力となり、コミュニティの支援につながっている。また、支援する側にとっても、自分たちの取り組みが持つ、社会的意義につながっていることを実感する機会となっている。今後も来場者や

	<p>▽ 劇団育成支援に関する業務</p> <p>▼ 劇団支援策として『札幌市こども人形劇場こぐま座支援事業』を実施。各劇団の中島児童会館夜間占用利用について、使用料の一部を負担。※申請件数48件</p> <p>▼ 3月に利用者説明会を開催。劇団側からの様々な要望を聞くことができた。</p> <p>▼ 登録いただいている34名の市民ボランティアの方々には、スタンプラリー指人形制作、被災地支援事業等の事前準備スタッフとして活躍した。</p> <p>▽ 人形劇場等の制作に必要な知識及び技術の習得等に関する指導・助言・相談業務</p> <p>▼ 人形劇の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇について、指導、助言ができる体制作りを努めている。公演時や練習時等において、アドバイスを行い、劇団側と協働してより良い作品づくりを目指している。また、初心者のための人形劇講座を実施し、より多くの市民の方々が子どもの文化に携わり、担い手として育っていけるような環境を整えている。</p>	<p>地域の方々との交流を大切に、劇場の文化支援の役割として、継続して実施していきたい。</p> <p>次年度以降についても支援事業を実施していく。利用者説明会等を実施し、劇団側に十分な説明や周知を行うことで、施設の利用と協力体制を強化することができた。</p> <p>公演や練習、リハーサル、制作時において、日頃からさまざまなアプローチやアドバイスを行っていくことで、劇団側と信頼関係を築き上げ、より良い作品創造に繋がった。</p>	<p>安定的な公演数を確保し、より魅力的な公演を提供できるよう、引き続き劇団育成に関する支援を継続していくこと。</p>																																				
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="379 1115 983 1464"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29実績</th> <th>H30計画</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上演回数</td> <td>173</td> <td>200</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>出演者数</td> <td>4,840</td> <td></td> <td>5,465</td> </tr> <tr> <td>観客数</td> <td>9,102</td> <td></td> <td>11,701</td> </tr> <tr> <td>研修・見学者数</td> <td>9,238</td> <td></td> <td>13,465</td> </tr> <tr> <td>利用者総数</td> <td>23,180</td> <td>15,000</td> <td>30,631</td> </tr> <tr> <td>上演1回当たりの観客数</td> <td>52.6</td> <td></td> <td>56.5</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>86.5</td> <td></td> <td>82.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 主催事業、主催公演の際、他公演、事業への呼びかけを行い、宣伝などに努めた。</p>		H29実績	H30計画	H30実績	上演回数	173	200	207	出演者数	4,840		5,465	観客数	9,102		11,701	研修・見学者数	9,238		13,465	利用者総数	23,180	15,000	30,631	上演1回当たりの観客数	52.6		56.5	稼働率(%)	86.5		82.3	<p>上演回数については目標の200回を上回ることができた。1回あたりの観客数も昨年度に比べると上回り、資料室M・A・SO・BOの開設により施設をPRすることができた。</p> <p>施設使用承認については、条例に基づき、適正に処理を行なった。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 1070 1442 1115"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>良好な実績を収めたことは、利用促進の取組の成果であると評価できる。引き続き市民サービスの拡充を図り、さらなる利用拡大に努めること。</p>	A	B	C	D
	H29実績	H30計画	H30実績																																				
上演回数	173	200	207																																				
出演者数	4,840		5,465																																				
観客数	9,102		11,701																																				
研修・見学者数	9,238		13,465																																				
利用者総数	23,180	15,000	30,631																																				
上演1回当たりの観客数	52.6		56.5																																				
稼働率(%)	86.5		82.3																																				
A	B	C	D																																				
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ やまびこ座の7ヶ月の休館期間にも関わらず、ホームページのアクセス数は53,261件で、前年度の52,556件と比べて102%という結果になった。また、新規のアクセスが80%と、前年よりもやや増加した。やまびこ座30周年記念事業を企画し、やまびこ座とともに多岐に渡る記念事業を実施できたことによる効果と思われる。しかし、リピーターが総アクセス数の約2割にとどまっている状況を見ると、施設や事業の周知方法やページの作成、更新数等の工夫が必要である。また、30年度にホームページリニューアルを機に、ウェブアクセシビリティを考慮し、誰も</p>	<p>広報活動は、劇場業務の中でも重要な役割を担っており、利用人数に大きく反映されるものである。30年度については、やまびこ座30周年記念事業を大々的に実施できたことにより、メディアやチラシ、ポスター等の媒体で多く</p>	<table border="1" data-bbox="1246 1742 1442 1787"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強み</p>	A	B	C	D																																
A	B	C	D																																				

	<p>が利用しやすいホームページ作成を目指した。          ▼Facebook、TwitterなどSNSを利用し、タイムリーに情報発信することを心掛けた。          ▼定期的に(年6回)劇場通信(公演情報、事業案内等)をやまびこ座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校4校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。          ▼「札幌市おでかけ情報紙誌」をはじめとする、各報道機関等に公演、事業情報を提供するなど、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、館内掲示を行った。          ▼(公財)さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」に、公演情報を毎号掲載した(年6回発行)。</p> <p>▽ 引継ぎ業務          ・前回からの継続指定のため、引き継ぎ業務なし。</p>	<p>の市民に情報発信ができ、利用人数、観客数の増加につながったといえる。          次年度もリニューアルしたホームページ等をうまく活用し、誰でもわかりやすく、興味を引くページの作成、情報のフレッシュさを大切に、更新頻度をあげていく。          劇場通信やチラシの新たな配布先を検討し、ニーズに合った媒体を選択できるよう検討していく。</p>	<p>を活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。</p>								
<p>2 自主事業その他</p>											
<p>▽ 自主事業          《物品販売事業》          市民サービスの一環として、マスコット人形や人形劇キット、手づくりおもちゃ、オリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助、リピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図る。</p> <p>実施期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>販売商品:          ①ハンドパペット 金額:150円～700円          ②書籍・オリジナルグッズ(こぐまちゃんラバーストラップ、ピンバッジ等)          金額:50円～2000円</p> <p>【販売実績】          ①ハンドパペット:販売個数64個 売上額 35,000円          ②書籍・オリジナルグッズ:販売個数523個 売上額 166,150円</p> <p>総合計:販売個数587個 売上額 201,150円</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等          ▼ 再委託、物品の調達等を行うに当たり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。</p>	<p>市民サービスの一環として事業を開始し5年目となった。引き続き販売商品の製作等を他団体の協力を得て実施し、収益についても他の事業費に充当することで事業内容の充実を図ることができた。今年度は、販売場所をこぐま座玄関入り口へと移動させ、観客が手に取りやすい環境や、販売促進のPR効果により、全体の売上金額は、前年度比の約4倍近くまで大きく増加することができた。今後も市民ニーズに合わせて新たな商品開発を行うなど、こぐま座観劇の記念に残る品物を販売ができるよう取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。</p>				<p>今後も市内企業の積極的な活用に配慮していくこと。</p>
A	B	C	D								
<p>子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。</p>											

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、平成30年4月～平成31年3月の期間で実施した。(※アンケート方法については、来館者へアンケート用紙を配付し、回収。記名方式。)
結果概要	アンケート結果を集約し、利用者の意見、要望、苦情、ニーズ等を把握し、施設設備、業務等の改善に反映させるよう努める。なお、回収したアンケートについては、札幌市個人情報保護条例に基づき、取り扱いに十分留意し、保管整理。
	<p><b>【観客用アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収1,115枚</li> <li>・回答者は、大人では、30代～40代の子育て中の母親が4割を占め、0～5歳(13.1%)、6～12歳(16.9%)と今年度は小学生の観劇者が乳幼児を上回る結果となった。また、おしぼいの感想とともに、観たいお芝居の要望の記載も多くいただくことができたので、今後の作品内容や作品創りの上で劇団とともに共有し、活かしていきたい。また、今年度はやまびこ座の7か月館の休館も要因の一つであるが、平均観客数56.5名と健闘した。今後も子どもたちに観劇してもらうために、子どもから大人まで年齢を問わず楽しめる施設を目指したい。</li> <li>・公演情報取得の方法として劇場ホームページと回答した方が3割近くに達していたことに加え、来館回数が2回以上と回答した人が7割近いことから、より多くの観客を獲得するためにも、ホームページの工夫や更新頻度、リピーターの期待に応えられる作品創造を、劇団とともに目指すとともに、よりよい施設作りを目指す。</li> </ul> <p><b>【利用者(劇団)アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収22枚(回収率80%:劇団35劇団中28劇団)</li> <li>・支援体制について(施設的环境整備、劇場のサポート)は、ともに「とても良い」「良い」の回答を多くいただいた。</li> <li>・施設サービスについて(利用のしやすさ、職員の対応、利用申し込み)ほぼ満足していただけているが、客席がカーペット敷で、車いすのお客さまに対してスムーズに観劇できる環境整備を要望する声もあった。いただいた意見・要望は今後の施設運営向上に向け参考にしていく。</li> </ul> <p><b>【事業者別参加者アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催事業より、12事業(人形劇講座、こども人形劇団、パペットユーススクール、文化セミナー等)についてアンケートを実施し、214名より回答。</li> <li>・事業内容については、どの事業についても「とても良い」「良い」の回答を多くいただいた。特に担当した講師については「丁寧に指導していただいた」「熱心に教えていただいた」など高評価が得られた。施設の立地や環境の良さに反して、施設の老朽化等の指摘も見られるため、可能な限り改善するとともに、今後も利用者の満足を得られるよう各事業の充実を図る。</li> </ul>

全体的に総合満足度が高く、今後の施設運営につながるヒントを多くいただいた。利用者(劇団)にとって気持ちよく作品創造ができる環境、観客にとって人形劇を通し、子どもたちの心が豊かになる文化体験の場としていきたい。

将来における札幌の子ども文化の担い手を育成していくこと根幹に置き、事業の充実や満足度を維持できるよう努め、子どもから大人まで幅広い世代が利用できる施設づくりを目指す。

A	B	C	D
<p>観客・利用者(劇団)・事業別参加者と3種類のアンケートを実施しており、それぞれのニーズを把握し、よりよい施設運営に反映させようと努力しており、評価出来る。</p> <p>アンケートの結果からは、観客、利用者、事業参加者の大部分が職員の対応や事業内容に対して満足していることが分かる。これは指定管理者の努力の結果であると考えられる。今後も引き続きサービス水準を維持するよう努めるとともに、少数の意見も拾い上げて、より良い施設となるよう努力すること。</p>			

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H30計画	H30決算	差(決算-計画)
収入	31,605	31,573	▲ 32
指定管理業務収入	31,405	31,372	▲ 33
指定管理費	23,989	23,989	0
利用料金	250	316	66
その他	7,166	7,067	▲ 99
自主事業収入	200	201	1
支出	31,871	29,452	▲ 2,419
指定管理業務支出	31,736	29,452	▲ 2,284
自主事業支出	135	0	▲ 135
収入-支出	▲ 266	2,121	2,387
利益還元	65	53	▲ 12
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 331	2,068	2,399

▽ 説明

【収入】

・当初予算比で、利用料金は増収、その他収入は減収となったが、総体では概ね予算どおりの収入を確保できた。

【支出】

・指定管理業務支出は、経費縮減により支出を抑えた執行となった。  
 ・自主事業支出は、こどもの劇場(やまびこ座)で計上のため支出無し。

【収支差額】

・収支は、併設の中島児童会館との一体運営・連携事業展開により収支バランスを確保することができた。

【利益還元】

・内訳: 物品販売事業  
 ハンドパペット: 販売個数 236個、売上額 134,100円  
 書籍・オリジナルグッズ: 販売個数 351個、売上額 67,050円  
 合計: 販売個数 587個、売上額 301,150円

次年度以降についても公的助成の積極的な活用や地元民間企業や市民からの協賛金を募るための事業サポーター制度を引き続き実施していく。今後も、安定的に事業費の確保を目指す方策を検討する。

他団体と事業の共催・協働実施、連携による事業展開により、収益確保に繋がっている。今後も将来を見据えた事業展開を意識しながら他の関係機関・団体との連携を強化していきたい。

A	B	C	D

効率的な予算執行により、計画に比べ収支状況が改善されたことは評価できる。引き続き、安定的な運営に向け、努力すること。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

各事業実施時には、コスト意識の醸成を図りながら、収支バランス等を適時、把握することで、将来にわたって安定経営能力を維持することが出来るよう努めております。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼ 個人情報の取り扱いについては、札幌市個人情報保護条例に基づき適正に処理を行っております。また、個人情報の開示の要望はありません。  
 ▼ 情報公開条例に基づき適正に対応を行っております。また、指定管理事業等に係る情報公開請求はありません。  
 ▼ 札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行っております。  
 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>平成30年度は、やまびこ座が30周年を迎えた記念の年であった。やまびこ座とともに多岐に渡る記念事業を実施できたことは、これまで40年間以上、両劇場が築き上げてきた人材育成を柱に据えた運営実績の賜物であり、全国からの期待度を再確認する良い機会ともなった。これからも子ども文化施設の先駆けとして、全国、世界レベルでの発信を続けていく。また、姉妹都市であるノボシビルスクから招へいを受け、国際交流事業として劇場で育成する大学生を派遣。若い人材が、国際的な文化交流をとおして得た貴重な経験により、将来における札幌の財産となることを期待する。また、継続して取り組んできた砂川市や札幌市児童会館における子どもたちへの人形劇クラブ育成への取り組みは10事業に増え、劇場の役割の一つとして子ども文化の裾野を広げる効果が着実に始めている。さらに、一体運営をするこぐま座、中島児童会館に、資料室「MA・SO・BO」を開設することができた。次年度70周年を迎える中島児童会館とともに両施設が担ってきた役割を再認識し、子ども健全育成の中心拠点としてその歴史と功績を全国的にPRしていくことも含め、今後の新たな事業展開の実現が可能となった。</p> <p>将来的に子どもの人口が減っていく中で、文化、芸術における社会的な価値を見出し、やまびこ座、こぐま座の役割を今後どのように発信していくのかが重要なカギとなる。そのような意味でも30年度は、様々な文化関連団体や大学、各専門アーティスト、他ジャンルの方々との関係性を構築することができ、人形劇をはじめとした札幌の子ども文化、両劇場の価値をあらためて知らしめることができ、第4期指定管理のスタートとしてふさわしい年となった。</p> <p>①公演事業については、目標の200ステージを達成することができた。30年度について、特筆すべきは1ステージ平均56.5人という入場者数である。これまで50人前後であった平均を考えれば、かなり健闘したと言える。やまびこ座が7ヶ月間休館であったということも一因であるかもしれないが、資料室「MA・SO・BO」の開設や中島児童会館との全市レベルでの発信事業実施等も要因として挙げられる。であるからこそ、人材育成という根幹を見失わないよう、地道ながらもしっかりとした育成事業が重要である。</p> <p>②中島児童会館、こぐま座の一体運営により両施設にとって、より効果的な運営ができています。資料室「MA・SO・BO」をオープンし、歴史的資料や人形劇やあそびに関する専門資料、子どもたちのあそび体験ゾーン等の整備を行ったことでの効果は非常に大きく、あらためて注目される機会となった。生きる展示資料室をテーマに、市民に大いに活用してもらおうことで、子ども文化の総合センターという役割を構築していく。</p> <p>③劇場の社会的な役割の一つとして継続的に実施している被災地支援活動は、これまで東北福島を中心に実施してきた。しかしながら昨年9月の北海道胆振東部地震発生後は、福島に加え、厚真町への支援活動を実施。両劇場ができる人形劇やあそびといった文化的な活動が少しでも子どもたちの心のケアにつながっていくよう息の長い支援を行っていく。</p>	<p>地域活動等事業</p> <p>1 夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり 劇場という空間が特別なものではなく、地域に開かれた親しみある場として、子どもから大人まで多くの市民が集い合い、夢や笑顔を交わすことで生まれる創造的な取り組みを応援し、人や地域の活性化に繋げる。</p> <p>施設運営等事業</p> <p>1 人形劇等の裾野を広げていくための人材育成の取り組み 劇場の根幹である人材育成を柱に、時代のニーズに合わせ継続的かつ発展的な事業展開を図る。将来の札幌の文化発展を見据え、人形劇等の裾野を広げる事業を積極的に実施する。</p> <p>2 札幌の子ども文化の創造と発信による新たな可能性 子ども文化の創造・発信拠点としての中心的役割を担う。やまびこ座・こぐま座がプロデュースし、育成する劇団や専門アーティスト等との連携した取り組みによって、より良い作品の創造、普及に努める。また、国際交流や観光振興等を視野に入れた新たな取り組みによって、大きな可能性を秘めた事業展開に繋げていく。</p> <p>3 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館との連携による事業の拡充 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館という歴史的価値の高い、貴重な3施設が連携を図り、子どものための専門施設として、より効果的な運営を実現する。それぞれの施設の持つ特性を生かしながら、子どもの健全育成を踏まえた人材育成事業や全市的なイベント事業等の拡充、特色ある事業内容を全国に向けて情報発信する。</p> <p>4 劇場スキルを生かした財源確保と効率的かつ効果的な運営 指定管理費と併せ、公的助成や民間資金の活用による発展的な事業展開を図る。また、劇場の専門スキルを生かした関係機関との事業連携や育成指導を積極的に図り、財源確保に繋げる。</p> <p>5 子どもの文化施設としての社会的役割と使命 全国でも数少ない子どものための公立文化施設として、やまびこ座への期待は非常に大きい。文化力による社会的役割を明確にし、未来ある子どもたちの夢と可能性を広げていくことが劇場の使命と考える。</p>



④平成30年度の収支状況については、やまびこ座30周年記念事業関連において、文化庁を始め多くの助成金等を獲得することで収支バランスを取ることができた。(助成総額 6件25,233千円)また、北海道大学や他団体との共催事業実施による事業収益獲得もその一因といえる。特に助成をいただいている文化庁や日本芸術文化振興会からのやまびこ座、こぐま座への事業の取り組みは高く評価されており、今後も時代のニーズに合わせた事業展開が重要課題である。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の維持管理、貸館業務、事業の実施、施設の管理運営については全般に渡り適切な業務の執行がなされている。</p> <p>今後も中島児童会館と一体化している点を生かし、効率的、効果的な管理運営を行い、人形劇場という特色を生かした活動を通じて、本市の児童文化の普及・促進に寄与するように努めてほしい。</p>	<p>施設の設置目的を達成するため、今後とも制作団体の育成を行っていく必要があることはもちろんのこと、更なる利用者の増加及び収入の安定を図るため、引き続き市民ニーズを検証するとともに、より魅力的な創意工夫ある事業を展開していくこと。</p>